



南条つ子

教育目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

力いっぱいやりぬく子

南条小学校だより

令和4年9月22日発

第26号



なかよし・ひまわり学級



【読書の魅力(効果)】

- 語彙力、文章力が養われる
- 教養や知識が身に付く
- 生活に役立つ知恵を得られる
- 想像力が豊かになる
- コミュニケーション能力が高まる
- ストレス解消になる

○ 読み聞かせ(1・2・6年生・なかひま)

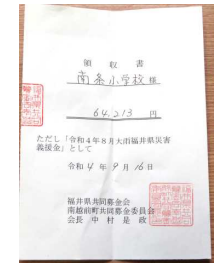
9月22日(木)、図書ボランティア(ブックマザーズ:ブックマ)による1、2、6年生、なかよし・ひまわり学級を対象にした読み聞かせがありました。子どもたちは早めに準備を終わらせ、楽しみに待っていました。みんな真剣に話を聴いており、とても楽しい時間を過ごすことができました。ブックマのみなさん、ありがとうございました。「読書の秋」とも言われています。明日から3連休ということもあり、親子で読書でもいかがでしょうか。



次回は、9月29日(木)に、3、4、5年生、なかよし・ひまわり学級で行われる予定です。

○ 募金(見舞金)渡し

9月16日(金)、児童代表が、社会福祉協議会の会長様に募金(見舞金)を渡しました。皆様のご協力のおかげで、最終的には64,213円集まりました。



○ 音読の効果

子どもが音読をすることで得られる学習効果

<読解力が身に付く>

音読を通して新たな単語や文章と出会い、読解力が身に付きます。文章や単語の切れ目や文字の読み方、話の流れをしっかりと理解しているとスムーズに音読ができるようになります。黙読では文章の内容が理解できないという子どもの場合も、声に出して読んでみることで内容がイメージできるという効果もあります。

<暗記力・記憶力が向上する>

音読はたくさんの感覚を同時に働かせるため前頭前野が活性化し、記憶力や暗記力をアップさせる効果があるといわれています。

<集中力が高まる>

音読をしている間は雑念に捉われることがなく、声に出して読む行為に集中することができます。音読をスムーズに行っているときは言語中枢をフル回転させているので、別のことを考えながら行う余裕はありません。音読を継続して少しずつ集中力を養い、徐々に周囲の誘惑をシャットアウトできる力が身につくでしょう。

<コミュニケーション能力が向上する>

音読によって適度な刺激を受ける前頭前野は感情を制御する部位でもあるため、子どものコミュニケーション能力を高める効果があります。

<ストレス解消になる>

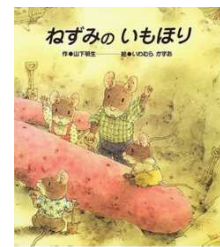
音読による脳への刺激や腹式呼吸の安定によってセロトニンが分泌されてストレスが軽減します。セロトニンは自律神経のバランスを整える効果があり、別名「幸せホルモン」とも呼ばれています。セロトニンが分泌されることで子どもの気持ちがおだやかになり、日々の暮らしや心身の発達のサポートになるでしょう。



1年1組



1年2組



2年1組



2年2組



6年1組



6年2組

